

品質保証

～ ISO26000 7つの中核課題:消費者課題 ～



▶ 基本的な考え方

品質方針として、「保土谷化学グループは、取引先指向の品質第一に徹する」を掲げており、「製品、商品および委託製品」を通して取引先の要望に応え、もって社会に対する貢献と社業の発展に資することを目的としております。

▶ 品質保証の取り組み

保土谷化学グループは、事実を把握し、事実から判断し、事実に基づいた行動にこだわることで、品質重視の思想を徹底し、取引先の信頼と満足に応える高機能、高付加価値の製品・サービスを提供します。

取引先の品質に対する満足を保証するため、品質保証活動を目的別に次の4つの体系に区分し、各体系に応じた必要な審査・監査・マネジメントシステムを通じて品質保証に取り組んでおります。

- ①製品の企画から安定生産までの品質保証活動体系
- ②製品の定常生産業務における品質保証活動体系
- ③商品・委託製品に関する品質保証活動体系
- ④品質保証活動の見直しに関する活動体系


また、QCサークル活動を通じて、製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を継続しております。毎年11月に全社QC発表会を開催し、QCサークル活動の成果を報告し合い、自己啓発・相互啓発・職場の活性化につなげております。

▶ ISOシリーズ取得


企業活動における品質・環境に関する体制については、国際規格への適応が当然のことと認識される時代になってきております。保土谷化学は事業所単位の取り組みにより、環境および品質マネジメントシステムの国際規格であるISO14001、ISO9001の認証を全事業所で取得してきました。2010年には事業所毎に分散独立したマネジメントシステムを統合し、さらに認証範囲を関係会社・協力会社まで拡大した保土谷化学グループとしての統合認証の取得を達成しました。またグループ会社の韓国SFC CO., LTD.も韓国の認証機関によるISOを取得しております。2017年には、環境および品質マネジメントシステム2015年版への移行審査を受け、認証の更新をいたしました。

従前以上に強化された体制の下、環境管理活動および品質向上活動に保土谷化学グループ一丸となって取り組んでおります。

| ISO9001:2015年版 品質マネジメントシステム | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 認証機関 | 日本化学キューエイ |
| 登録番号 | JCQA-0184 |
| 適合規格 | JIS Q 9001:2015 ISO 9001:2015 |
| 取得年月日 | 1996.12.25 |



| ISO14001:2015年版 環境マネジメントシステム | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 認証機関 | 日本化学キューエイ |
| 登録番号 | JCQA-E-0330 |
| 適合規格 | JIS Q 14001:2015 ISO 14001:2015 |
| 取得年月日 | 2001.12.25 |



Voice



経理部
佐々木 海帆

改善への第一歩

活動当初は、はたして自分にQCリーダーが務まるだろうかと不安でいっぱいでした。限られた時間の中で日常業務と並行しつつ活動を進めることは簡単ではありません。ですが、手探り状態からスタートした活動も、会合の回数を重ね、意見を出し合い、QCサークルメンバーの考えに触れることで、いままで見えなかった問題解決への糸口が見えてきました。また、問題の本質が見えるにつれてやるべきことが明確化され、問題を解決していく楽しさを感じることができただけでなく、全社QC発表会で成果報告し、金賞を受賞することができました。地道ではありますが、メンバーと協力して、一つ一つの問題解決を積み重ねていくことが、職場・会社全体の改善につながっていけば良いと思います。